

東海市下水道事業 社会資本総合整備計画の評価について

今回評価していただく整備計画は以下のとおりです。

番号	社会資本整備計画の名称	計画年度	評価種別	資料のページ	備考
1	東海市における公共下水道整備の実現（重点計画）	平成 30 年度(2018 年度) ～令和 4 年度(2022 年度)	事後評価	P 2～P 6	令和 4 年度事業を繰り越したため令和 5 年度に事後評価を実施
2	東海市における防災・安全推進計画（防災・安全）	令和 2 年度(2020 年度) ～令和 6 年度(2024 年度)	中間評価	P 7～P 1 1	令和 4 年度事業を繰り越したため令和 5 年度に中間評価を実施
3	東海市における防災・安全推進計画（防災・安全）（重点計画）	令和 2 年度(2020 年度) ～令和 6 年度(2024 年度)	中間評価	P 1 2～P 1 9	令和 4 年度事業を繰り越したため令和 5 年度に中間評価を実施

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	東海市における公共下水道整備の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）												
交付対象	東海市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,767	A	5,767	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	下水道処理人口普及率を79.8%（H29末）から87.7%（R4末）に増加させる 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人） / 行政人口（人）	80%	85%	88%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	東海市	直接	東海市	管渠(汚水)	新設	東海処理区	A=148.7ha	東海市						4,980		-	
	A07-002	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	新設	下名和中継ポンプ場	新設・増設	東海市						79		-	
	A07-003	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	新設	下名和中継ポンプ場	新設・増設	東海市						96		-	
	A07-004	下水道	一般	東海市	直接	東海市	終末処理場	新設	東海市浄化センター	新設・増設	東海市						612		-	
												小計						5,767		
												合計						5,767		

案件番号：

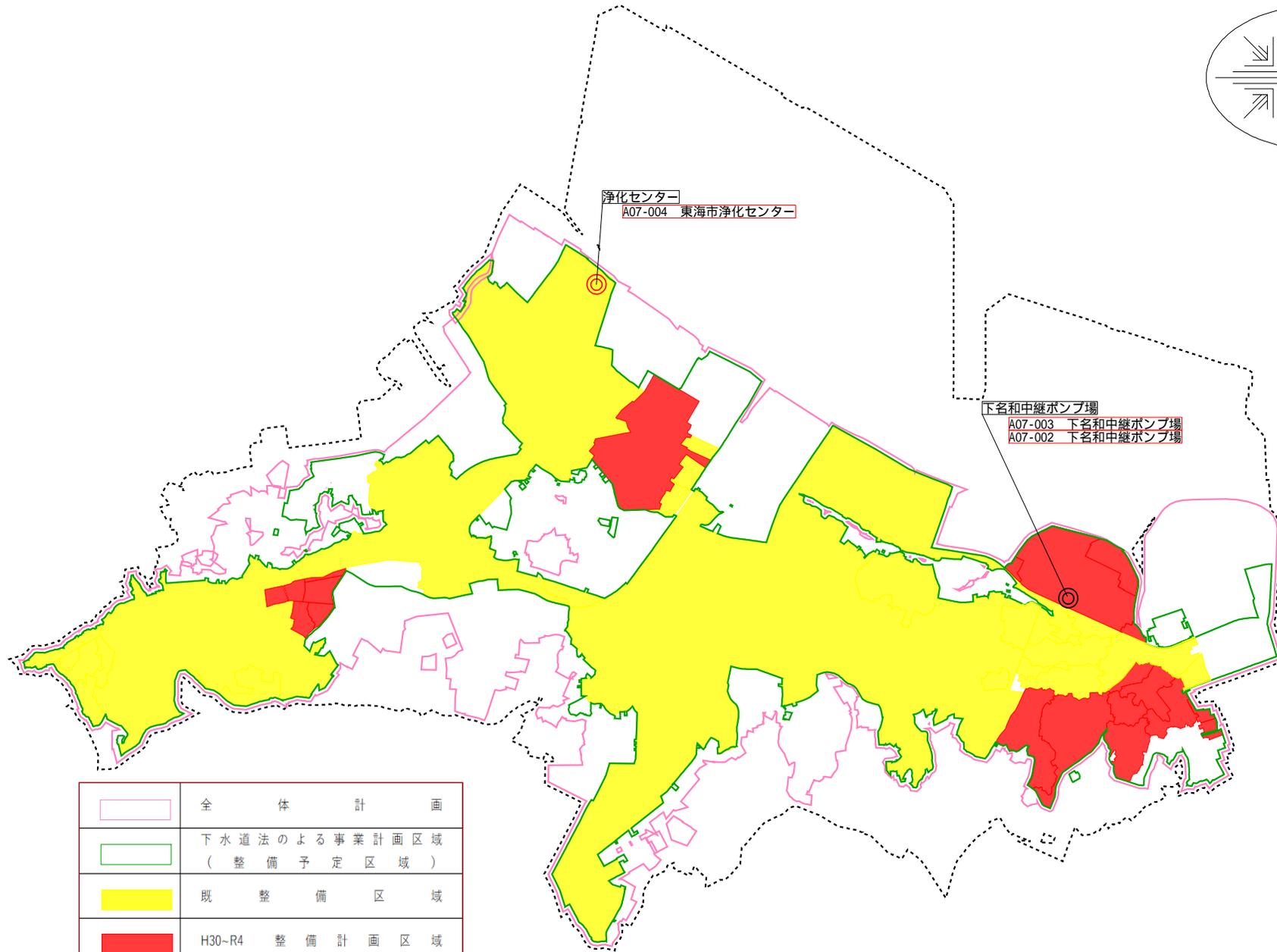
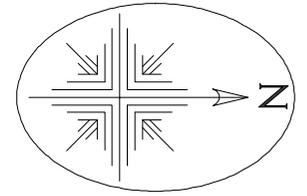
事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者、市議会議員及び公募による市民で組織された、東海市社会資本整備総合交付金評価委員会において事後評価を実施	令和6年2月
	公表の方法 東海市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	「計画の成果目標」の下水道処理人口普及率について最終目標値に未達となった、令和4年度末普及率、目標値87.7%、実績値86.9%。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き污水管渠整備を進めていき、市民が日常生活の中で安全・安心を実感し、将来にわたり快適に暮らせる街づくりを進めることに寄与していく。	

案件番号：

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	88%
	最終実績値	87%
		下水道処理人口普及率について、計画時の推定では最終評価時に行政人口118000人、下水道利用可能人口103,840人と想定していたが、実際は行政人口113,572人、下水道利用可能人口98,673人となり、下水道利用可能人口（分子）の伸びが、行政人口（分母）の伸びより小さかったことによるもの。下水道供用開始面積tとしては、ほぼ予定通りの進捗であった。（約98%達成）

案件番号：



	全 体 計 画
	下水道法による事業計画区域 (整備予定区域)
	既 整 備 区 域
	H30~R4 整備計画区域
	A07-001 東海処理区

社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	東海市における防災・安全推進計画（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	東海市												
計画の目標	長寿命化事業を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,963	A	1,963	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	東海市ストックマネジメント計画に基づき処理場の長寿命化を0%（R2当初）から100%（R6末）に増加。（その他関連する事業を含む） 処理場の長寿命化対策実施率（その他関連する事業を含む） 長寿命化が行われた施設数（箇所） / 長寿命化をすべき施設数（箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
・東海市地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A07-001～A07-003全て														

案件番号：

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	東海市	直接	東海市	終末処理場	改築	東海市浄化センター	改築・更新	東海市						1,817		策定済
		東海市ストックマネジメント計画																	
	A07-002	下水道	一般	東海市	直接	東海市	-	改築	東海市ストックマネジメント計画策定業務	改築・更新	東海市						38		策定済
		東海市ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	東海市	直接	東海市	-	改築	ストックマネジメント計画点検調査業務	改築・更新	東海市						108		策定済
		東海市ストックマネジメント計画																	
											小計						1,963		
											合計						1,963		

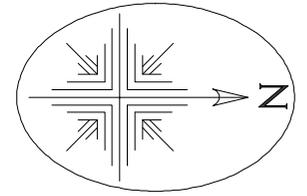
案件番号：

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
学識経験者、市議会議員及び公募による市民で組織された、東海市社会資本整備総合交付金評価委員会において中間評価を実施	令和6年2月
	公表の方法
	東海市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	「計画の成果目標」の処理施設の長寿命化実施率について中間目標値を達成できた。令和4年度末実施率、目標値0%、実施値56%。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き、計画的に処理場の長寿命化を進めていき、市民の安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することに寄与していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	中間 目標値	0%	処理場の長寿命化について、当初計画時には中間評価時に長寿命化が完了する施設はないと想定していたが、全9施設のうち5施設の長寿命化が完了したことによるもの。
	中間 実績値	56%	

案件番号：



浄化センター

A07-001 東海市浄化センター

A07-002 ストックマネジメント計画策定業務

A07-003 ストックマネジメント計画点検調査業務

	全 体 計 画
	下水道法による事業計画区域 (整備予定区域)
	既 整 備 区 域

社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	東海市における防災・安全推進計画（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	東海市												
計画の目標	浸水対策事業、長寿命化事業、地震対策事業を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,586	A	3,586	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2当初	中間目標値 R4末	最終目標値 R6末
1	雨水幹線管渠整備事業の延長のうち、整備済み延長の割合を0%（R2当初）から88.4%（R6末）に増加させる。 雨水幹線管渠整備事業による浸水対策達成率 雨水幹線整備事業の整備済み延長（m） / 雨水幹線整備事業の整備すべき延長（m）	0%	53%	88%
2	処理場の耐震化を0%（R2当初）から100%（R2末）に増加。（その他関連する事業を含む） 処理場の耐震化対策実施率（その他関連する事業を含む） 耐震化が行われた施設数（箇所） / 耐震化をすべき施設数（箇所）	0%	0%	100%
3	東海市ストックマネジメント計画に基づきポンプ場の長寿命化を0%（R2当初）から37.5%（R6末）に増加。（その他関連する事業を含む） ポンプ場の長寿命化対策実施率（その他関連する事業を含む） 長寿命化が行われた施設数（箇所） / 長寿命化をすべき施設数（箇所）	0%	25%	38%
4	ポンプ場の耐震化を25.0%（R2当初）から62.5%（R6末）に増加。（その他関連する事業を含む） ポンプ場の地震対策実施率（その他関連する事業を含む） 耐震化が行われた施設数（箇所） / 耐震化をすべき施設数（箇所）	25%	63%	63%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	<input type="radio"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="radio"/>
・東海市地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A07-001～A07-015全て																

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	東海市	直接	東海市	管渠(雨水)	新設	大田川第7雨水幹線	L=1081.1m	東海市						393		策定済
		東海市大田川流域における浸水対策推進プラン																	
	A07-002	下水道	一般	東海市	直接	東海市	管渠(雨水)	新設	東海処理区	L=420m	東海市						512		-
	A07-003	下水道	一般	東海市	直接	東海市	-	改築	東海処理区	マンホール浮上防止	東海市						18		策定済
		東海市下水道総合地震対策計画																	
	A07-004	下水道	一般	東海市	直接	東海市	管渠(雨水)	改築	横須賀第3・第5雨水幹線	耐震対策	東海市						24		策定済
東海市下水道総合地震対策計画																			
A07-005	下水道	一般	東海市	直接	東海市	終末処理場	新設	東海市浄化センター	耐震対策	東海市						47		策定済	
	東海市下水道総合地震対策計画																		
A07-006	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	改築	名和前ポンプ場	改築・更新	東海市						196		策定済	
	東海市ストックマネジメント計画																		
A07-007	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	改築	名和前ポンプ場	耐震対策	東海市						114		策定済	
	東海市下水道総合地震対策計画																		

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-008	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	改築	元浜ポンプ場	改築・更新	東海市						51		策定済
		東海市ストックマネジメント計画																	
	A07-009	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	改築	元浜ポンプ場	耐震対策	東海市						318		策定済
		東海市下水道総合地震対策計画																	
	A07-010	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	改築	浅山ポンプ場	改築・更新	東海市						20		策定済
		東海市ストックマネジメント計画																	
	A07-011	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	改築	伏見ポンプ場	改築・更新	東海市						15		策定済
		東海市ストックマネジメント計画																	
	A07-012	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	新設	天寶ポンプ場	新設	東海市						1,771		-
	A07-013	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	改築	浅山ポンプ場	耐震対策	東海市						30		策定済
		東海市下水道総合地震対策計画																	

案件番号：

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-014	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	改築	伏見ポンプ場	耐震対策	東海市						57	-	
		R5年度に行う耐震診断の結果をもとに「東海市下水地震対策計画」に位置付ける																	
	A07-015	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	改築	天寶ポンプ場	耐震対策	東海市						20	-	
		R4年度に「東海市下水地震対策計画」に位置付ける																	
											小計						3,586		
											合計						3,586		

案件番号：

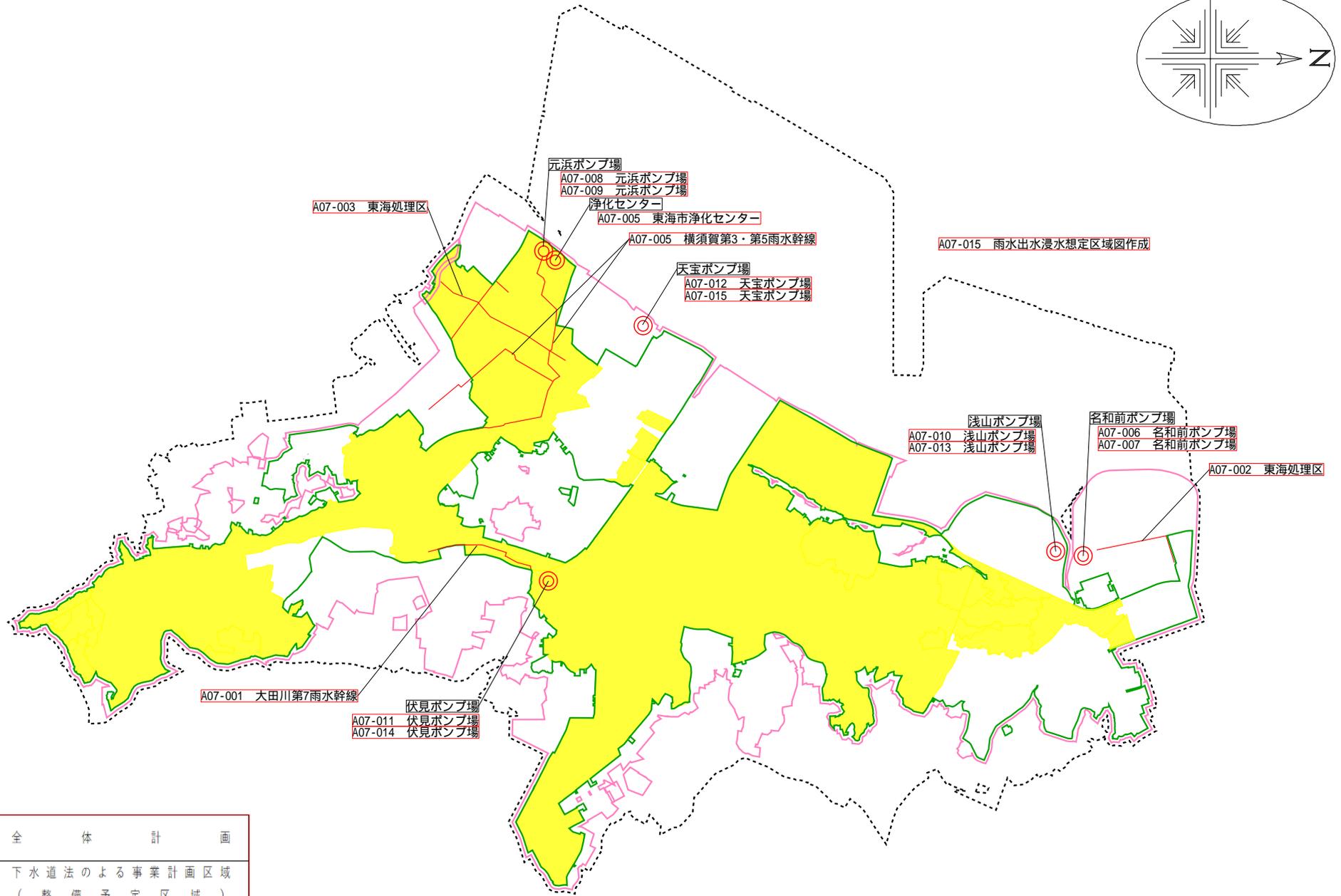
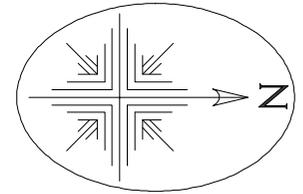
中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
学識経験者、市議会議員及び公募による市民で組織された、東海市社会資本整備総合交付金評価委員会において中間評価を実施	令和6年2月
	公表の方法 東海市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	「計画の成果目標」の雨水幹線管渠整備事業による浸水達成率について中間目標値に未達となった。令和4年度末達成率、目標値53%、実績率0%。 処理場の耐震化対策実施率について中間目標値を達成できた。令和4年度末実施率、目標値0%、実績率88%。 ポンプ場の長寿命化対策実施率について中間目標値を達成できた。令和4年度末実施率、目標値25%、実績率50%。 ポンプ場の耐震化対策実施率について中間目標値を達成できた。令和4年度末実施率、目標値63%、実績率63%。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き、計画的に浸水対策、長寿命化対策、地震対策をおこない、市民の安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することに寄与していく。	

案件番号：

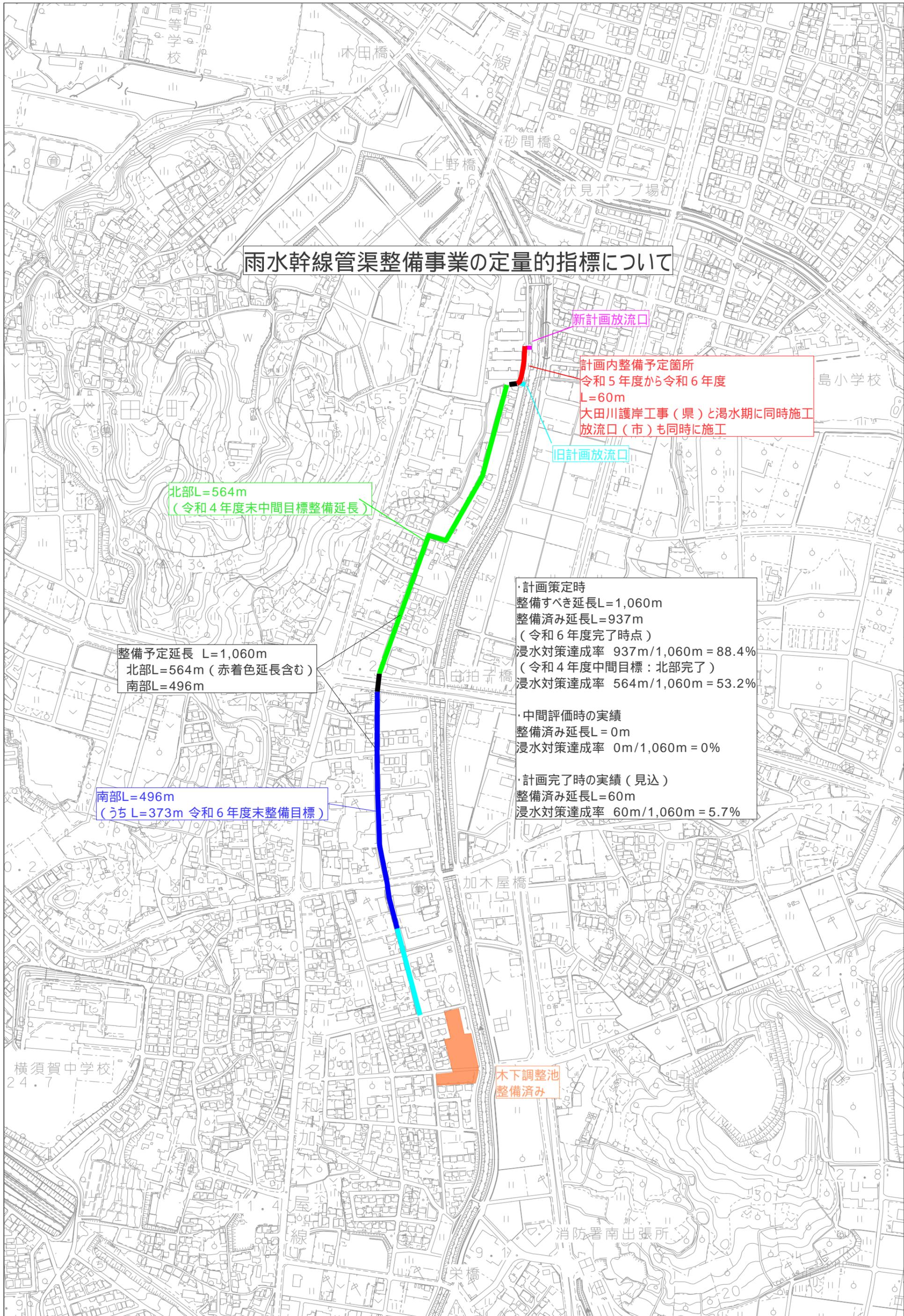
目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	中間目標値	53%	大田川第7雨水幹線整備について、前回計画の平成29年度の施工時に、想定以上に地盤の状況が悪く周辺地盤に影響を及ぼしたことから工事を中断し、線形、放流口位置及び仮設計画を見直す検討を進めてきた。本計画の策定期間からの工事再開を目指していたが、地元調整や河川工事との調整に時間を要したため、整備済み延長が伸びず中間目標値に未達となった。令和5年度から工事を再開している。
	中間実績値	0%	
2	中間目標値	0%	処理場の耐震化率について、当初計画時には中間評価時に耐震化が完了する施設はないと想定していたが、全8施設のうち7施設の耐震化が完了したことによるもの。
	中間実績値	88%	
3	中間目標値	25%	雨水ポンプ場の長寿命率について、当初計画時には中間評価時に長寿命化が完了する施設は2施設と想定していたが、全8施設のうち4施設の長寿命化が完了したことによるもの。
	中間実績値	50%	
4	中間目標値	63%	
	中間実績値	63%	

案件番号：



	全 体 計 画
	下水道法による事業計画区域 (整備予定区域)
	既 整 備 区 域

雨水幹線管渠整備事業の定量的指標について



新計画放流口

計画内整備予定箇所
令和5年度から令和6年度
L=60m
大田川護岸工事(県)と湯水期に同時施工
放流口(市)も同時に施工

旧計画放流口

北部L=564m
(令和4年度末中間目標整備延長)

整備予定延長 L=1,060m
北部L=564m (赤着色延長含む)
南部L=496m

南部L=496m
(うちL=373m 令和6年度末整備目標)

・計画策定時
整備すべき延長L=1,060m
整備済み延長L=937m
(令和6年度完了時点)
浸水対策達成率 $937\text{m}/1,060\text{m} = 88.4\%$
(令和4年度中間目標: 北部完了)
浸水対策達成率 $564\text{m}/1,060\text{m} = 53.2\%$

・中間評価時の実績
整備済み延長L=0m
浸水対策達成率 $0\text{m}/1,060\text{m} = 0\%$

・計画完了時の実績(見込)
整備済み延長L=60m
浸水対策達成率 $60\text{m}/1,060\text{m} = 5.7\%$

木下調整池
整備済み